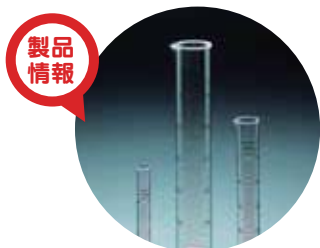




科学や教育を支える 日本が誇るものづくりの緻密やび

ガラス製体積計のスペシャリスト



製品情報

メスシリンダー・メスフラスコ等
ガラス製体積計

代表からひとこと

代表取締役社長／濱地 信 Makoto Hamaji



2016年7月に、ダイワテック(株)と合併を致しました。パイプ(田舎)系のガラスの加工が得意なクライミングと主に板硝子の加工が得意なダイワテック。両社の強みを生かし、加工の幅が広がりました。ガラス加工メーカーとして、他社がやらないことをやり続け、なくてはならないものを供給しています。ガラスに関することでは、顧客の課題解決に向けて挑戦し続ける会社です。

ガラス製体積計を作りつづける生産数量日本一に

学校の理科室や研究施設などで使われるメスシリンダー、メスフラスコ、ピペットなど、理化学用のガラス製体積計を中心に製作している株式会社クライミング。特殊な形状をしているうえに正確さも求められるため、熟練の技術が不可欠。日本でも製作できるのはわずか数社という希少な存在です。

創業は1937年。外国航路船の機関長として世界中をまわっていた創業者が、ドイツで見聞した度量衡を日本にも広めたいと思い、濱地製作所をつくったのが始まりです。以来、79年にわたってガラス製体積計を作り続け、現在、ガラス製体積計において日本での生産数量日本一(約60%)を誇っています。

ガラス成型加工は、おおよそが手作業。特殊な形状を製品化する熟練の「手加工技術」は簡単には真似のできない技術です。当社では、研究施設や大学などからオーダーされる一点もの、たとえば複雑な形状や特殊な容量の器具にも柔軟に対応しており、それを可能にしているのが、「ガラス加工技能士(国家技能検定)の資格を持つ技術者たち。熟練の技術で、1点1点を丁寧に手加工しています。

自社で機械をつくり量産化にも成功

一方で、これまで手加工でしか対応できなかった工程に、機械加工を取り入れているのもクライミングの

強みです。ガラス製体積計製造の機械は生産されていないために、工場で作っている機械は全てが独自開発したオリジナルの製造設備。現場で働いている職人が意見を話し合い、技術を駆使し、自分たちで作りました。自社製なので、トラブルが起きた時にも社員による修理・調整が可能。その技術とノウハウを活かし、お客さまの要望があれば機械設計も行えるようになりました。

機械化していても全てが自動というわけではなく、機械のセット、火の調整、プログラムの組み方には確かな人の知識と熟練の技が必要であることに変わりありません。

この「手加工技術」と「機械加工」の融合により、ガラス管を原料として、切断、成型、研磨、測定、目盛印刷、焼付、検査、梱包まで一貫して行えるのも、他にはない強みです。

株式会社クライミング

社 歴 1937年 現北九州市にて創業。/1997年 理化学分析用硝子器具製造の有限会社山口理研を吸収合併し社名改称。
2016年 創業時に兄弟会社でガラスの表面加工技術に特化したダイワテック株式会社を吸収合併。
所在地 千835-0011 福岡県みやま市瀬高町松田630-1
代表者 代表取締役社長 濱地 信
従業員数 74人
事業内容 その他製造業
設立年 1960年

携帯電話・スマートフォンでご覧いただけます！

企業紹介ムービーはこちら



企業サイトはこちら

